

上半期売上
過去最高に

ハルナG

飲料製造などを手掛けるハルナグループ（高崎市足門町、青木麻生CEO）は9日、2021年度上半期（4～9月）の総販売数量が前年同期比1%増の2657万ケース、売上高が5%増の139億2500万円で、それぞれ上半期として過去最高となったと発表した。

巣ごもり特需の反動減があったものの、新商品の企画提案を積極的に行い、中型・小型容器商品を中心に伸長。東京五輪・パラリンピックも追い風となった。配送効率化で物流コストも抑えられた。

営業利益は5億4800万円、経常利益は5億1200万円。

同日の事業報告会で青木CEOは、JRR東日本と連携したミネラルウォーター事業の進捗を紹介。「みなかみ町の谷川エリアに新工場建設が進んでいる」とした。同社によると、新工場は来春の竣工を予定している。